

社会福祉施設等関係者各位

公益社団法人横浜市防火防災協会  
会 長 鈴木 正光

小規模社会福祉施設関係者に対する防火安全研修会について（ご案内）

秋冷の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、当協会の運営にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、横浜市健康福祉局、横浜市消防局及び社会福祉法人横浜市社会福祉協議会のご後援をいただき、小規模社会福祉施設の防火安全研修会を毎年実施しております。

つきましては、本年度も関係職員の方々を対象とした防火安全研修会を下記日程により開催いたしますのでご出席いただきますようご案内申し上げます。

1 日 時

実施時間は毎回午後 1 時 15 分から午後 4 時までです。

第 1 回 令和 5 年 11 月 24 日（金） 第 2 回 令和 5 年 11 月 25 日（土）

第 3 回 令和 5 年 12 月 1 日（金） 第 4 回 令和 5 年 12 月 5 日（火）

第 5 回 令和 5 年 12 月 8 日（金）

2 場 所

横浜市民防災センター 研修室

横浜市神奈川区沢渡 4-7

※別紙案内図のとおり

（電話）045-312-0119

3 主 催

公益社団法人横浜市防火防災協会

4 後 援

横浜市健康福祉局

横浜市消防局

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター

5 参加者・人数

（1）参加定員 100 人（各回定員 20 人）

（2）参加対象者

ア 障害者施設関係者

イ 高齢者施設関係者

6 講師

当協会防災支援課職員他 計3人

7 実施項目・内容

今年度は、新たに救急関係の講話も取り入れ、更に充実した内容としています。

(1) 少人数宿直体制の防火対応

想定 グループホーム、地域活動ホームにおける夜間の火災事例

(自動火災報知設備、火災通報装置設置)

(2) 傷病者が発生した場合の対応、119番通報要領等について

(3) 地震及び風水害の減災トレーニング及び消火器の取扱及び煙体験

8 参加費用

一人 3,000円 (テキスト代を含みます。)

9 研修会受講の申込み要領

(1) 申込み手順

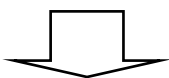
[kousyuu@ydp.or.jp](mailto:kousyuu@ydp.or.jp)

このメールアドレスに、次の事項を記入し、防災支援課「河原」宛に送信してください。

- (1) 件名は「福祉施設研修会申し込み」と記入してください。
- (2) 施設の名称、住所、電話番号、メールアドレス
- (3) 受講者氏名と希望受講日(第2希望まで記入)
- (4) メール送付者の氏名と連絡先電話番号



決定受講日などについて「河原」からメールを返信します。



参加費用(3,000円)を郵便局又は銀行に振り込んでいただきます。(受講日の7日前までの振込をお願いします。)

● 郵便局の振込先

公益社団法人横浜市防火防災協会

口座記号番号 00230-4-10357

● 銀行の振込先

横浜銀行県庁支店 普通 1128486

公益社団法人横浜市防火防災協会

(2) 参加費用振込に関する留意事項

(ア) 振込み手数料については、各振込者でご負担をお願いいたします。

(イ) 受講日当日、振込状況を確認させていただきますので、金融機関で発行された「利用明細票」(領収書)のコピーをお持ちください。

(ウ) 納付いただいた参加費用は返金いたしかねますので、予めご了承ください。当日、欠席された場合、横浜市防火防災協会より事業所あてテキストを送付します。

10 その他

研修会場には、駐車場がありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

公益社団法人横浜市防火防災協会

防災支援課

担当：河原

電話：045-714-0929

## ■ 横浜市民防災センターの行き方 ■

横浜市民防災センターへのアクセス方法についてご紹介します。

※ 駐車場はありませんので周辺の駐車場をご利用いただくか**公共交通機関**をご利用ください。

- 横浜駅 <JR、相鉄、京急、市営地下鉄、東急、みなとみらい線>西口より徒歩約10分

- 徒歩ルート

横浜駅西口 ⇒ 相鉄ジョイナス地下街に入る ⇒ 地下街を直進 ⇒

南12番出口 ⇒ 地上に出て左折 ⇒

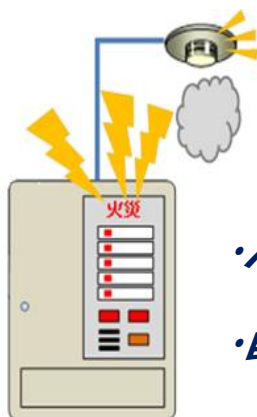
ホテル・キャメロットジャパンを左手に見て直進 ⇒ 鶴屋町三丁目の歩道橋を渡る ⇒

沢渡中央公園内に入る ⇒ 正面に防災センター入口が見えます。



# 令和5年度小規模社会福祉施設

## 防火安全研修会



### 夜間での一人勤務

・入所者が苦しんでいます。

・自火報が鳴り出しました。

そんな時、あなたはどのような行動をとりますか？



### どのような研修をするの？

1. 模擬の自動火災報知設備、火災通報装置を使って設備の説明をします。
2. 傷病者が発生した際の対処法、119番通報要領及び救急隊への情報提供等を解説します。
3. 自動火災報知設備が作動した場合の、初期活動や避難誘導を映像や設問で確認します。
4. 市民防災センターの体験ツアー（約30分）に参加し、消火器の訓練、煙体験、地震時や風水害時の減災などを学びます。

### 開催日時・場所

（日 時） 実施時間は毎回午後1時15分から午後4時までです。

第1回 令和5年11月24日（金） 第2回 令和5年11月25日（土）

第3回 令和5年12月1日（金） 第4回 令和5年12月5日（火）

第5回 令和5年12月8日（金）

（場所）

横浜市神奈川区沢渡4-7 横浜市民防災センター

（参加費用）

お一人 3,000円（テキスト代含みます）

### 後援団体

- ・横浜市健康福祉局
- ・横浜市消防局
- ・横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター

（お問い合わせ）

公益社団法人 横浜市防火防災協会 防災支援課

横浜市南区別所一丁目15-1 BML 横浜ビル2階 ☎045-714-0929